

ブラック団GG

松浦南北

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

名古屋の某鉄道系アイドル青山由美とその仲間たち、そしてスクールアイドルが繰り広げるリアルタイムの活動記録。

注：①元の原作はこちら。

<https://syosetu.org/novel/18>

1091 / (プロトタイプの作品)

<https://syosetu.org/novel/18>

4565 / (メイン作品1)

<https://syosetu.org/novel/20>

6931 / (R-18作品)

<https://syosetu.org/novel/22>

2234 / (墓場)

<https://syosetu.org/novel/28>

4195 / (メイン作品2)

②キャラ崩壊注意です。

③自虐やキャラクターへの貶めも多く見られます。

④B a n G D r e a m ! とのクロスは公式ガイドライン上一

切なしとします。

⑤視点は1話ずつ書きます。

⑥放送禁止用語は原則自主規制します。

これらを踏まえた上でお読みください。

※2022年5月1日追記

存続不能となったので短編に変更しました。本作品は残します。

目次

松浦果南の休日をめちやくちやにしようとしたらブルーメランが返ってきた	1
Aqours交通探検団 あつまれ！東海の電車	10
ヨハネは今のままじゃ嫌らしい。	38
乗りたい車両に乗れないんですけど…	43
Aqours春のBAN祭り	50
鉄道系スクールアイドル失格!?! 乗り間違い選手権	58
こんなことになっては俺の精神が持たんだ!!	62
山部仲喜謝罪会見	66
315系は、大垣に、来るな。	69
投稿禁止テンプレート	75

松浦果南の休日をめちやくちやにしようとしたら
ブーメランが返ってきた

俺「参ったなこりゃ…」

ダイヤ「どうしたんですの由美？」

俺とダイヤはまたもや新居町駅に来ていた。なぜこうなったのか
というと、

俺「もうね、Bang Dream!とのクロスが二次創作の公式
ガイドライン違反だったからこれまでの一部の出来事が立ち消えに
なってる…」

ダイヤ「それはそうでしたか…。確かに前作はガイドラインに抵触
していましたから削除されて正解ですわ」

俺「そしたら今度は仲喜くんは鉄道ファンもアイドルもやめろ迷惑
だって言い出す奴が…1人」

ダイヤ「その方は…名前を覚えていただけると助かりますわ」

俺「ハンドルネーム『淡島のイルカ』だったはず」

ダイヤ「それはおそらく果南さんですわね」

俺「だけど仲喜くんにも非があるんだわ。アイツ近鉄に『KT』と
か言う奴は近鉄や客に基●外って言っているみたいだからそれはや
めろって言ったんだぜ？そのせいでマルが怒って、今でも許していな
いらしい」

ダイヤ「私は近鉄は『KNT』って略しがちなので大丈夫ですが、仲
喜も許せませんわね。でも幼馴染だからとはいえ、鉄道ファンもアイ
ドルもやめろという発言は到底許されるべきことではありませんわ」

俺「…で、今日はどうするの？」

ダイヤ「決まっているでしょう？今回の企画名は『松浦果南の休日
をめちやくちやにしようぜ』として、果南さんに色々な邪魔をするの
ですわ!!」

俺「それいいね！一旦罰が当たるべきだからな」

ダイヤ「聡平とジュリーはどうします？」

俺「アイツらは今日2人で豊橋に行くから参加できないって。そういうルビイちゃんは？」

ダイヤ「ルビイも三島に行くと言っていましたわ」

俺「じゃあ早速行くか。果南はどこにいる？」

ダイヤ「今日は一宮に行くという話でした」

俺「じゃあ行こう！」

こうして果南への妨害大作戦は始まった。

く※く

というわけで一宮到着。

俺「まずはどうする？」

ダイヤ「果南さんを今商店街で見かけたという情報が入りました。

そこで悪役に扮して旅を妨害するのです!!」

俺「了解ですダイヤ隊長!!」

とりあえず商店街に移動しよう。

く※く

商店街に移動したあと、サングラスをかけて変装する。

ダイヤ「由美、準備はいいですわね？」

俺「ああ」

そしたら果南ちゃんがやってきた。

ダイヤ「今ですわ」

果南「さてと…次は…うわああああ!!」

ダイヤ「なんだかんだと聞かれたら！」

俺「答えてあげるが世の情け！」

ダイヤ「世界の破壊を防ぐため！」

俺「世界の平和を守るため！」

ダイヤ「愛と真実の悪を貫く！」

俺「ラブリーチャーミーな敵役!!」

ダイヤ「ダイアナ!!」

俺「竹蔵!!」

ダイヤ「日本を駆けるブラック団の2人には!!」

俺「シャイニングホール!!輝く明日が待ってるぜ!!」

果南「…って、由美とダイヤでしょ!!」

俺「なぜバレた？」

果南「隙あり!!」

果南は煙玉を投げて逃げた。

俺「逃げられたか」

ダイヤ「次に行きたいのですが、そろそろお昼ですわね。喫茶店で食べますか」

俺「そうしよう!!」

というわけで某喫茶店にて。

ダイヤ「ミックスフライ定食を1つお願いいたします」

俺「あたしは焼きそばとアイスティーにしようと思います」

カレーと迷ったが、焼きそばを食べられるのは珍しいので注文した。

注文した焼きそばは鰹節が踊り、まさに美味しそう。

実際に食べてみると…うん。美味しい。ちよつとスパイスが効いて辛いけどその奥にあるうま味がいいんだよねえ…。

俺「ダイヤのミックスフライ定食はどうよ？」

ダイヤ「すごく美味しいですわ♪今まで食べた中でも美味しくて…言葉にできません♥」

俺「喜んでくださり何よりです」

昼食後、俺たちは近くの神社に行ったが…

ターゲット・松浦果南を発見した。

ダイヤ「(由美、行きますわよ)」

俺「(ああ、わかってる)」

今回は魔女のコスプレで攻める。しかしスカートの丈が短すぎるから寒いなあ…。

果南「げっ!また何か出た!!」

ダイヤ「清く正しく美しく。ブラック団がいる限り、この世にAqoursは栄えない。闇を払い、この世界に新たなる夜明けを!」

果南「また由美とダイヤでしょ」

俺「何を言うんですか!! 私は竹蔵です!!」

ダイヤ「フツフツフ…私は堕天使ダイヤナ。あなたも堕天しなさい？」

果南「…騙されないぞ?もう君たちの計画はバレバレだから。もういい。ダイヤのTwitter晒すからね」

そのまま逃亡した。

ダイヤ「それだけはy…行ってしまいましたわ」

俺「もう諦めるべきだよ。果南怒っちゃったぞ」

ダイヤ「いえ、たとえ晒されても私は諦めません。とにかく果南さんの休日をめちやくちやにするのですわ!!」

厳しいことを言うと今日のダイヤは本当におかしい。俺が荒らしをしているときよりも極めて非常識かつ失礼な、最低な人という感じになっている。

ひとまず叩かれるまでは様子を見よう。なんか嫌気が差すけど兄弟の次に信頼しているダイヤを裏切るわけにはいかない。

く※く

名鉄一宮駅に戻ってからのこと。俺たちは普通列車で黒田駅に向かった。ここから138タワーパークまで歩くのだが…

俺「疲れた…」

ダイヤ「まだまだ頑張れますわよ!!」

そして歩くこと約40分…

2人「着いた…」

しかし…

俺「開いてない!!」

ダイヤ「でも諦めません。外で歩いていると思いますわ…。ひとまずTwitter見ますか」

ダイヤはTwitterを開く。彼女のハンドルネームは「DiamondKawasaki」である。KRSW、IDは「@DiamondKawasaki」である。

ん?よく見たら果南(淡島のイルカID:@KananCNR)の

ツイートが流れてきていないぞ？

ダイヤ「果南さんのツイートは…？あれ？」

俺「いつペンIDで検索してみようよ」

ダイヤ「怖いですがやってみますわ」

そして検索を試みたら…、

You're blocked
You can't follow or see @Kanan
CNR, tweets. Learn more

本当にブロックされていた。

ダイヤ「由美、晒されていないか確認できませんか？」

俺「任せて」

そして「KananCNR」で検索すると以下の文がダイヤのアカウトの画像とともに載っていた。

【拡散希望】

@DiamondKawasaki

皆さんもこの本物の黒澤ダイヤには注意が必要です。

ダイヤは私の旅の目的地にわざわざ訪れ、私の旅を意図的に妨害しようとする最低最悪な、スクールアイドルやラブライバーを名乗るべきでない害悪鉄ヲタライバーです。

#拡散希望 #通報推奨 #ブロック推奨

(スクショ晒し)

「※ごめんなさい作成できませんでした」

午後2:18 2021年2月11日 Twitter Web A

pp

← ←

返信先: @KananCNRさん

また、フォロワーさんにDMで執拗にエンカを求めてくるというアイドルらしからぬ行為も行っております。

なお、私のフォロワーさんやファン、ダイヤのアンチに限らず、ダイヤを推している皆さんや鉄道ファンの皆さんについても、ダイヤのTwitterアカウントの通報とブロックを推奨致します。

#拡散希望

午後2:24 2021年2月11日 Twitter Web A

pp

俺「…どうする?..」

ダイヤ「…もう私は死んできます…。これをルビイに渡しておいてください…」

手渡してきたものは…遺書だった。

俺「そんなのダメだよ!!」

ダイヤ「いい加減にしなさい!!」

バツチーン!!

ダイヤ「由美も含めて皆さんが自由にさせてくれなくて…私はもう…死んだほうが楽になれると…ぐすつ…うわあああああん!!」メソメソ

どうしよう…病んじやった…。

俺「何かあったのか!?話があるなら相談に乗るぞ!!」

ダイヤ「もうあなたとも話したくありませんわ!!私はAqoursもブラック団も人生もやめます!!」ダッ

後がない。これじゃあ安心して帰れないよ…。とりあえずタワーの方に戻るか…。

戻ってからのこと。今度はダイヤのTwitterアカウントはこうなっていた。

@DiamondKawasaki

アカウントは凍結されています

Twitterでは、Twitterルールに違反しているアカウントを凍結しています

これはもうダイヤの最期が見えてきてしまった。その時だった。

フォルクスワーゲンのT2から金髪金眼のハーフのお姉さんが降りてきて俺のもとにやってきた。一発でわかった。小原鞠莉ちゃんである。

鞠莉「ハア、イ、由美。元気ないわね」

俺「もうね、今日は散々な1日なんだ…」

鞠莉「何かあったの？」

俺「ちよつと言いいにくいからそこで座って話そうか」

鞠莉「いいけど」

く※く

俺はあつたことをありのままに語った。

鞠莉「なるほどね。果南もサイテーだけど、まさかダイヤが果南の旅を妨害する計画を立てるなんて、ショックだわ」

俺「俺はどうなんだよ…」

鞠莉「あなたもダイヤの計画に付き合ったから同罪よ。いい？今からマリーも協力するから一緒にダイヤを探すわよ!!」

俺「…了解」

く※く

そして堤防の上を走ること20分。ダイヤは東海道本線の鉄橋の下でうずくまっていた。

鞠莉「ダイヤ、話は聞いたわよ」

ダイヤ「鞠莉…さん…？」

鞠莉「くだらない争いはもうやめて!!」

俺「ダイヤ…本当にごめん!!俺のせいで病んだんだったら俺が責任を持ってブラック団もコメット団も脱退するから!!」

ダイヤ「いえいえ…私が本当に悪いのですわ…。このまま川の中に消えていくしかないのですわね…」

バツチーン!!

俺「自分を責めるのも大概にしろ!!」

もう俺も我慢の限界だった。

俺「自分を責めても何もいいことはないぞ？」

鞠莉「そうよ!!だって…私たちがいるじゃない!!」

ダイヤ「果南さんについては…？」

俺「俺が電話で謝るついでに直接聞いたら『私も反省している。ダイヤに謝りたい。だからいち早く岐阜駅に来てほしい』って話だった」

鞠莉「果南も謝りたいって言っているから、さあ、勇氣出して!!」

ダイヤ「皆さん…うわあああああん!!」メソメソ

こうして俺たちは鞠莉ちゃんの車で岐阜駅に行つて果南に謝りに行くことにした。

く※く

岐阜駅にて。

俺「果南…改めてですが…ダイヤに便乗して本当に申し訳ありませんでした!!」

ダイヤ「私もひどく言い過ぎました。反省しています。申し訳ありません」

果南「2人とも顔を上げて」

果南は申し訳なさそうな顔をしていた。

果南「こつちも仲喜のことを叩きすぎて本当にごめん!!本人にも謝つた!!だから許して!!」

ダイヤ「いいですか果南さん?次仲喜を貶めたら本当に容赦しませんからね?」

果南「もう二度としません…でも言いたいことは私も同じ。次旅を妨害したら、まじでAqoursから追い出すからね!!」

ダイヤ「今後は気をつけます…」

鞠莉「平和に終わって良かったね♪」

全員「あはは…!!」

これをもって俺たちのいざごきはすべて解決した…ダイヤのTwitterアカウントが凍結された以外は。

そしてこの出来事で俺たち4人の絆はより一層深まったのであった。

果南「ところで今日夕食どうする?」

ダイヤ「ここで食べて行きましょうよ」

全員「賛成ー!!」

とはいえ、今回の出来事が「ラブライブ総合ニュース」というニュースサイトに載ったの言うまでもない。

Aqours交通探検団 あつまれ!東海の電車

私「えーっと、この新幹線に乗ればいいですわね」

由美「ああ」

私と由美は静岡に来て名古屋まで新幹線に乗ることにしました。静岡までは名古屋発の新快速に乗っていて気づいたら終点まで乗っていたのです。

由美「また鞠莉ちゃんと果南現れないかねえ…」

私「それは心配ですわね…」

【OP♪Aqours『HAPPY PARTY TRAIN』♪】
今回は私のソロです。この時には今回出てくる車両の走行動画が流れました。

(果南・鞠莉)「Aqours交通探検団」

【挿入曲♪C MUSIC Professional Librarian♪『さわやかな散歩道』♪】

果南「おはよう、由美」

鞠莉「ダイヤもいるわ♪」

私「2人ともいきなりどうしたんですの?」

やはり出現しましたか。

果南「私たちは一昨日から淡島に帰ってルビィちゃんや善子ちゃんに会いに行っていたんだ」

鞠莉「ルビィは元気になっていたわよ☆」

由美「なるほど。それはよかった」

果南「ダイヤたちは?」

私「静岡行きの新快速に乗って気づいたら終点まで乗っていましたの。それで帰りは新幹線のほうが良いと判断したのですわ」

鞠莉「でもまだ時間はあるからこれからどうするのデエースカ?」

由美「全く決めてない…何もなければ仕事場に戻る気でいたんだが…」

果南「えっ…?せっかく企画を考えてきたのに…」

私「何か企画している…?怪しいですわね…お断りいたしますわ」

由美「俺も断る」

鞠莉「拒否権はア—リマセ—ン!!」

これはもう手遅れですわね…。

【挿入曲 終了】

名古屋駅に到着。

果南「さあ始まりましたA q o u r s交通探検団。鞠莉、今回の企画は？」

鞠莉「今回の企画は『あつまれ！東海の電車』よ!!」

由美「俺の得意分野じゃん」

私「それならお任せください!!」

果南「じゃあまずは、J R東海の一般型電車から行ってみようか」

2人「うん！」

私「ええ」

【挿入曲♪N a s h M u s i c L i b r a r y『春蚕』♪】

鞠莉「ギンギラギンが新鮮だわ!!」

果南「まずこれが、211系」

由美「これって確かロングシート地獄のやつだよね」

鞠莉「その通り!しかも静岡車はトイレもないの。ひどくない!?ねえ!!」

由美「そりやそうだよ!!」

私「早速荒れていますわね…(汗)」

そんなこんなで211系は通過していきます。

〜※〜

果南「これも211系」

鞠莉「屋根の形と帯の色が違うわね」

果南「いいところに気がついたね!!この211系はJ R東日本から乗り入れているんだよ」

3人「果南(さん)それは反則でしょうが!!」

211系長野色も通過していききました。

〜※〜

私「あら?211系…ではありませんわね…」

果南「これはね、213系って言うんだよ」

由美「本当だ！2ドアでトイレもついてる!!あと中身もクロスシートだ!!」

果南「何『本当だ』だと？人生20年、アイドル歴5年…（彦六風…）」

鞠莉「彦六師匠はいいから!!」

果南「はいスンマセン…」

213系も飯田線を通していきます。

※

鞠莉「これは…?」

果南「これは311系。オールクロスシートの近郊型なんだ。ちなみに豊橋と米原の間にオールロングシート車は全く走らないんだって」

私「だからこの前豊橋から帰るとき心地よかったですか」

この前313系に豊橋から乗ったときの心地よさは忘れられませんが、311系は1世代前ですが、こちらの乗り心地も捨てがたいですわね。

311系も普通列車でありながら高速で通過していきました。

※

由美「あつ、これだこれだ!!」

私「これというのは?」

由美「313系だよ。金太郎飴のように湧くJR東海の代表格。静岡地区はオールロングシートだけど、他はクロスシート。それからセントラルライナー用の車両もあるんだぞ」

果南「説明助かるよ…」

313系も通過。

※

由美「これも313系」

私「どこが違うんですの?」

果南「よく見てごらん。ライトが全部白いじゃん」

私「理解しましたわ」

果南「ほんと、ダイヤはおバカさん」

鞠莉「ほんと、オ・バ・サ・ン☆」

私「1文字抜けてますわ!!」

由美「大学生になってもまだやってんのかこいつら…」
こちらの313系も通過しました。

く※く

果南「最後は313系…じゃないね」

鞠莉「これはDEC611系。数少ないJRの電気式気動車なのよ」
♪

私「確かに走りが力強いですわね…」

由美「しかし煙が真っ黒だ…」

鞠莉「まあ、エンジン出力が720馬力だからね」

DEC611系は真っ黒な爆煙をあげて通過していききました。

【挿入曲 終了】

私「あれ?ここは…?」

果南「ここは名古屋車両区。気動車だけが大量に配置されているんだ。この気動車は主に紀勢線で使われるの」

鞠莉「ちなみにキハ85は全部この配置よ」

私「なるほど」

由美「じゃあ次はこの気動車を全部探検するか」

私「そうですね」

【挿入曲♪C MUSIC Professional Library
ry『僕の電車はチンチン電車』♪】

ダイヤ「まずは特急ひだですか」

果南「キハ85系ね。ステンレスにオレンジ帯の東海スタイルいいよね」
連続窓になっている点が素敵ですわ。

果南「これがエンジン。カミンス製のC—DMF14HZを2基積んでいるの。出力は350馬力だったはず」

由美「350馬力は257kWだったから…1軸128kW程度で115系の全電動車以上の出力が得られる…考えればバケモノだ…」

鞠莉「バケモノ車両大量保有の会社に勤めている人間が何を言っているのデエースカ!？」

由美「馬鹿シャイニーは黙れ」

鞠莉「助けて果南く!!由美に暴言吐かれたく!!」

果南「由美もちよつとした反抗期なんだしいいんじゃない?」

鞠莉「ぐすん…」

荒れすぎですわね…。

く※く

私「車内はハイデッカーですか」

果南「そうだね。でも車椅子の人が乗れるように一部分は段差をなくしているんだ」

由美「凄いなこれ…」

く※く

鞠莉「続いては、キハ75」

私「貫通扉の上にヘッドライトのあるものとなないものとあるのが…」

鞠莉「いいところに気がついたわね!ヘッドライトがあるもののほうが新しくて若干高さが低いの」

果南「なるほどね」

く※く

私「車内は転換クロスシート…?」

鞠莉「その通りよ!快速みえに使われるからそれなりの設備がないと」

私「近鉄さんはJRさんの誘惑に負けないようにお願いいたします!!」

私は極度の近鉄好きです。由美や花丸さんの影響もありますが、私は近鉄を馬鹿にした仲喜については話したくないとは思っています。許しているかと言われたらそうでもありませんが。

く※く

果南「続いて、キハ11形」

私「確か城北線と名松線で見かけないものですわよね」

鞠莉「当たり前よ」

〜※〜

果南「ここが、運転席」

由美「自動空気ブレーキだからか」

旧来のコントローラーの訳は自動空気ブレーキだからですね。
納得ですわ。

〜※〜

果南「セミクロスというのも凄いね…。東京にも少ないなあ〜つて」

由美「ローカル線だと多いよ」

〜※〜

由美「最後はキハ25か。コイツ1エンジンで520馬力とかバケモノだよな」

私「バケモノ会社のミイラが何を言っているんですの!?!特大ブーメラン刺さっていますわよあなた!?!」

由美「ミイラじゃないし旅行妨害のおばさんが言うなや!!」

私「おばさんじゃありませんわ!!」

〜※〜

由美「コイツだけロングシートで18きっぱーには不評なんだよねえ…」

果南「じゃあ美濃太田の0番台と比較する?」

私「お願い致しますわ」

〜※〜

由美「これだこれだ。区間快速武豊行きに乗ったときを思い出すなあ」

鞠莉「乗ったの?」

由美「当たり前前よ!!俺ずっと名古屋在住だもん!!」

鞠莉「そうだったわね…失敬」テヘペロ

由美「てへじゃねえ!!」

こちらは転換クロスでした。

〜※〜

果南「最後にキヤ95とキヤ97だね。キヤ95はドクター東海つという愛称がついているんだ」

鞠莉「中は覗かせてくれないの?」

果南「事業用車だから大学生オンリーはお断りだつて。私たち20歳なのにJR東海もケチだよね」

由美「おいこらそれを言うんじゃない!!それに俺だけ19とか仲間はずれだよ…」

まあ、JR東海様が認めなければそこまでですわね…。

【挿入曲 終了】

鞠莉「でも楽しかったわ〜」

果南「じゃあ今度はこの気動車たちとさつき紹介しきれなかった特急型電車の走行シーン見たい?」

由美「見たいなあ」

果南「じゃあ行こうか!!」

2人「うん!!」

私「まだ心の準備が…仕方ありませんわね」

【挿入曲♪Nash Music Library『SC-0202』
♪】

果南「おつ、快速みえがやってきた。キハ75だね」

鞠莉「ちよつと前のディーゼルなのに俊敏に走るわね」

私「それはそうですわよ。エンジン2台で700馬力ですもの」
豪快な黒煙をあげて通過していきます。

〜※〜

鞠莉「キハ75が行つたと思えばキハ85がやってきたわ!!」

果南「これは特急南紀だね。撮影地が関西線だから」

こちらも豪快な煙とともに通過していきます。

〜※〜

私「こちらもキハ85ですわ」

果南「こっちは特急ひだだね」

由美「そしたら逆方向から白いのが来てるんですけど…」

鞠莉「あれは特急しらさぎ。681系よ」

由美「なるほど。1本だけ683系なんだよね。レアすぎるけど」
鞠莉「そうよ☆」

2編成は私たちの目の前ですれ違いました。

〜※〜

果南「キハ25だ!」

私「疑問ですがDEC611系とどこが違うんですの?」

果南「全部そうだけど貫通扉上にヘッドライトがないの」

由美「美濃太田のクロスシート車両以外は右側の窓上の行先表示もついてないんだよね」

果南「そうだよ」

私「では美濃太田の当該車両を見てみたいですよ」

〜※〜

由美「これだこれだ。5本しかないからレアなんだ」

鞠莉「レア車っていいよね☆」

由美「だよな」

〜※〜

果南「さあて次は…」

由美「383系だな」

私「たしか振り子式ですわよね。車体が傾くあれ」

由美「そうだよ」

しなの号も通過していきました。

〜※〜

由美「あれ?普通列車かな?」

果南「普通列車だけどこれ373系ね。ホームライナーの送り込みで運転しているんだよ」

由美「なるほど」

373系の普通列車も浜名湖の上を渡っていきました。

【挿入曲 終了】

鞠莉「さあ、名古屋駅に戻ってキマーシタ!!」

果南「次どうしよう…。名鉄か中小私鉄か…」

私「なぜ近鉄は外すんですの?」

由美「中部高速鉄道も外すなや」

2人「(声を揃えて)絶対に荒れるから」

由美「ちえっ…もういいよ…おうち帰る!!」イジケ
するとカチャリという音が聞こえてきました。

果南「由美、カエサナイヨ?」ハイライト消し

由美「勝手にしろもう…」

鞠莉「じゃあ次は中小私鉄・三セク、それから名鉄の探検に、Le
t's go!!」

【挿入曲♪C MUSIC Professional Libra
ry『少年の日の思い出』♪】

果南「まずはあおなみ線1000形から」

鞠莉「ステンレスカーだわ!!」

私「青と紫の帯が素敵ですわね」

〜※〜

果南「これは城北線」

由美「ここって愛知唯一の非電化路線じゃないのか?」

果南「やりますねえ!!」

鞠莉「淫夢はいいから!!」

果南「ハイスンマセン…」

〜※〜

果南「これが、愛知環状鉄道」

由美「懐かしいなあ…」

私「次の日は勉強会だったことも覚えてますわ」

果南「それを言わないでよ!!」

2000系も通過していきます。

〜※〜

果南「愛知環状鉄道といたらリニモも忘れちゃだめだよね」

私「リニアモーターカーも今はまだここだけですからね」

リニモは軽快に通過していきました。

〜※〜

果南「これ鉄道っていったら語弊があるよね」

鞠莉「ガイドウェイバス志段味線は小幡緑地駅から本当のバスになるもの」

由美「…でしようね」

〜※〜

私「豊橋鉄道ですわね」

果南「田原まで行くんだよね」

私「その通りですわ!!」

〜※〜

私「これも豊橋鉄道ですか」

由美「こっちは東田本線って言うらしい」

私「路面電車が本線ってwww」

モ780形も無事に通過していきました。

〜※〜

果南「次は岐阜県。まずは樽見鉄道」

由美「これって最新型のハイモ330—700じゃないか?」

鞠莉「果南、ハイモって何?」

果南「ハイスピードモーターカーの略だって。それと330って数

字はエンジン出力を現しているんだ」

〜※〜

果南「次は長良川鉄道」

私「ナガラ500形ですわね」

由美「あー、観光列車見たかった…」

鞠莉「そんなこと言ったらやってきたわ!!」

由美「奇跡だよ!!」

今回は駅でのすれ違いでした。

〜※〜

果南「岐阜県の最後は明知鉄道」

由美「1両編成なのに山越えて凄いな…箱根のアイツほどじゃないけど」

いけど」

ゆっくりと通過していく明知鉄道でした。

【挿入曲 終了】

【挿入曲♪C MUSIC Professional Libra

ry『大空でリトル・ラブ』♪】

果南「次は三重県。まずは伊勢鉄道」

私「俊敏に走っていますが…」

果南「後続の快速みえに追いつかれないようにするためだつて」

く※く

果南「それから三岐鉄道三岐線」

鞠莉「黄色とオレンジが目立って素敵ね」

果南「でしょ？」

く※く

果南「じゃあ次は静岡県行ってみよう！まずは遠州鉄道」

鞠莉「こっちの赤い車体も素敵だわ!!」

2000形ですか。

く※く

果南「この次は天竜浜名湖鉄道に行こう！」

私「今度はカモメのような白い車体ですか」

カミンスサウンドを奏でて通過する気動車でした。

く※く

果南「そして、静岡鉄道」

由美「まるでスクールアイドルのように色とりどりだ!!」

果南「そういえば鞠莉のバイオレットはないよね」

由美「せやな」

鞠莉「ひどいよ!!」

く※く

果南「最後に大井川鉄道」

鞠莉「ボロボ…」

果南「なにか言った？」

鞠莉「イエナндеモナイデース」

果南「これだから金持ちは…」

しかし鞠莉さんがボロと言うのもわかります。

【挿入曲 終了】

果南「次は名鉄を探検しよう!!まずは2000系ミュースカイ」
鞠莉「青いラインで速そうに見えるわ!!」

果南「でしょ?」

〜※〜

果南「これは2200系。スカートの大きいのと小さいのがあるんだよ」

鞠莉「一見するとミュースカイのそっくりさんのようね」

果南「でしょ?」

2200系は通過していきました。

〜※〜

こちらも2200系。

私「スカートが大きいですわ」

由美「そうだな」

〜※〜

私「これは?」

果南「これも2200系。けど前の2両だけ新しいやつだから2230系って言われるんだ」

由美「しかも元は1700系と組んでいたらしい。全部廃車になっただけ」

私「それでも全部で12両の犠牲があつてこそこの車両ですからね」

2230系は舞木に留置されていました。

〜※〜

果南「これは1200系だね」

鞠莉「1000系じゃないのね」

果南「リニール車は1200系っていうんだ」

由美「なるほど…」

私「赤い車体がとてもクールですわ!!」
〜※〜

果南「これは…どっちだ？」

鞠莉「3500系よ。スカートがついているもの」

私「何と迷ったんですの？」

果南「6500系」

鞠莉「じゃあ6500系も見なきや!!」

由美「だな」

〜※〜

由美「6500系はこれかな？」

鞠莉「そうよ☆スカートがないでしょ？」

私「言われてみればそうですね…」

〜※〜

私「これが、6000系ですか…名鉄は本当に”迷鉄”ですわね…」

果南「うまい！座布団1枚!!」

6000系は顔および窓だけで貫通型とか鉄仮面とか色々あるの

で…あーわからないですわ!!

〜※〜

私「赤いのが多い名鉄に銀がいるわけ…ありましたわね」

由美「これが名鉄3300系。本線系統初のステンレス車じゃない

かな」

私「本線系統以外のステンレス車と言ったら何ですか？」

鞠莉「小牧の方にいるわ!」

〜※〜

鞠莉「これよ!名鉄300系!」

私「上飯田線の電車ですか」

鞠莉「そうよ☆」

300系も軽快に走っていきます。

〜※〜

果南「地下鉄繋がりでも忘れてはいけないよね」

由美「名鉄100系か」

鶴舞線の100系も通過していきます。

〜※〜

由美「あつ、ハズレだ」

鞠莉「名鉄5000系のどこがハズレなのよ」

由美「直流モーターの界磁チョツパ制御だから」

私「もしもし東急ですか？ここに界磁チョツパ制御を馬鹿にする言葉を吐く最低な人が」

由美「やめろおおおおお!!」

それでも8500…間違えました。5000系は通過していきま
す。

く※く

鞠莉「最新型だわ!!」

由美「これだ!!9500系!!」

私「由美が喜んでくださり何よりですわ」

9500系と9100系の併結6連急行は通過していきます。

く※く

果南「最後に忘れてた。瀬戸線の4000系」

私「角ばっていますわね」

由美「かくかくしかじか、なーんてね」

全員「あはははは…!!」

なんか馬鹿馬鹿しいですわね…。

【挿入曲 終了】

というわけで、取材終了。

鞠莉「伊豆箱根鉄道と養老鉄道、伊賀鉄道を忘れていたような気が

しマース!!」

私「あと岳南電車と伊豆急もですわ!!」

由美「それから北勢線と四日市あすなろう鉄道も抜くなや」

果南「静岡市より東はもういいかなって。それにそれ以外はとある
関西の大手私鉄とまとめて紹介したいからその時でいい?」

この時点で近鉄だとわかってしまったのは私だけでしょか…?

3人「やったあ!!」

しかし富士と伊豆一帯、特に内浦を抜かれたのは心外ですわ。

果南「とりあえず、そろそろお昼だね」

由美「どこで食べる？」

鞠莉「マリーのおすすり紹介するわ♪」

く※く

驛麵通りの一風堂でラーメン一杯。これを言っではおしまいですが、花丸さんがいなくて良かったですわ。

私「さあ、午後の部を始めましょうか」

3人「うん！」

果南「最初は名古屋市営地下鉄にしよう。作者のお膝元だから早いうちに紹介したいな。それから近鉄と中部高速鉄道を見に行こうよ!!」

私・由美「やったあ!!」

鞠莉「それではLet's goデース!!」

【挿入曲♪Nash Music Library】SC—3611】

♪

果南「まずは東山線から。5050形だね」

鞠莉「東山線はどこを走るの？」

果南「中川区の高畑から名東区の藤が丘まで走るんだ」

く※く

ダイヤ「車内は狭めですわね」

由美「モケットは赤だな」

く※く

果南「それからN1000形を忘れちゃだめだよね」

由美「IGBTっていいよね」

N1000形も駅に到着します。

く※く

果南「続いて、名城線と名港線」

由美「やんごとなき紫の帯が映えるのう（平安貴族風）」

鞠莉「いきなりどうしたのよ」

由美「いやついなんとなくw」

く※く

私「モケットは黄緑色ですわね」

由美「吊り革もたくさんついているなあ」
く※く

すると23番編成がやってきました。

由美「23番って俺の嫌いなやつだよ」

私「何が嫌なんですか?」

由美「初期の27本の中でコイツだけ音が違うんだ」

果南「この音は私も好きじゃないかな」

2000形23番編成はドアを閉めて発車していきました。

く※く

果南「続いて、鶴舞線」

鞠莉「C001な水色のラインがきれいだよ!!」

果南「これは3000形。もうすぐすべての車両が引退するよ」

私「最近置き換え多いですわね…」

く※く

果南「そしてこれが3050形。東山線の5050形と同じ世代なんだよ」

鞠莉「へえー」

く※く

果南「それからN3000形。この電車でさっきの3000形を置き換えていくよ」

由美「複雑ですなあ…」

果南「お前が言うな」

く※く

果南「3050形の車内を見てみよう。名城線や東山線の車両より中は広くて乗り心地も良さそう♪」

私「モケットの色も青でクールですわく!!」

く※く

私「それでは桜通線を見ていきますか。まずは6000形」

果南「右側に運転台がついているけど…」

私「ホームが全部島式だからですわ」

果南「なるほど。譲渡するときは困るけど」

私「それはありますわね…」

く※く

私「そして6050形。野並と徳重の間が開業するときには4本だけ製造されたレア車両ですよ」

鞠莉「でもどこかの誰かさんが5本以内に6割の確率でやってくるって言ってたわよ」

果南「5本って40分くらいかかるからそりゃレアだよな」

私「鞠莉さんロマンがありませんわ!!」

鞠莉「失敬☆」テヘペロ

由美「てへじやねえ!!」

く※く

由美「最後は上飯田線。7000形は朝夕にしか走らないんだよねえ…」

鞠莉「それこそレアよねえ♥」

由美「でしょ?」

【挿入曲 終了】

【挿入曲♪Sound Bank『夢と希望に満ちた明るいポップ』

果南「次は近鉄行ってみよう!!まずは急行列車の定番2610系だね」

私「後ろの2両は何ですか?」

果南「あれは9000系。界磁チョツパ制御の電車だよ。奈良線から転属してきたんだ」

奈良線系統からの転属とは魂消しました…。

く※く

果南「これは2800系」

私「何が違うんですの?」

果南「何だっけなあ…まあ、そういうのは自分で探してみるのも大切だよ」

鞠莉「誤魔化したわね…」

2800系の後ろも2800系でした。

く※く

果南「今走ってきた3両編成の普通列車も2800系だよ」

私「ところで2800系の4両編成と2610系の違いって何ですか？」

果南「それは…その…」

由美「やっぱ知らないんだろ」

3両編成の2800系は通過していきました。

く※く

鞠莉「次はマリーが紹介しマース!!これは1810系よ!!」

私「先程の2800系の2両編成とは何が違うんですの？」

鞠莉「1810系は訳があつて大阪線の青山トンネルを越えられないの」

私「なるほど…」

どこかで聞いたことがありますわね。ちなみに後ろ4両は2800系でした。

く※く

鞠莉「これは2000系。パンタグラフが中間車に2個しかついていないのよ」

私「2800系3両編成は3個ですからね」

2000系も名古屋方面へと消えていきました。

く※く

鞠莉「そしてこれが1000系。一番前の車両にパンタグラフが2個ついているの」

私「確か昔は4両編成もあったらしいですわね」

鞠莉「その通りよ!!」

1000系も津新町方面へと消えていきました。

く※く

鞠莉「これは1010系」

私「2000系と何が違うんですの？」

鞠莉「元々奈良線の920系だったから裾絞りがあるのよ」

由美「9000系と同じなのか…」

1010系は平田町方面へと消えていきました(鈴鹿線にて収録)。
※

鞠莉「これは1201系。2両編成のかわいい電車ね」

私「先程の9000系よりも車体幅が狭いですわね」

鞠莉「元々名古屋線系統の生え抜きだもの」

私「理解しましたわ」

1201系も通過していきました。

※

鞠莉「これは1201系…なのかしら？」

由美「これは前の2両が1200系、次の1両が2430系、その次の1両が2410系っていうゲテモノ編成だぞ」

私「それは複雑ですわ…」

ちなみに後ろ2両は1201系でした。

※

鞠莉「これが2430系よ。パンタグラフが一番前の車両と中間車に1個ずつついているわ」

果南「似たのに2444系があったんだけどあれは…？」

鞠莉「それは…えーっと…」

私「誤魔化しそうですわね…」

私はわかっていきますので。

※

鞠莉「これは2050系。1201系の3両編成版よ」

果南「ところで2430系と2444系の違いは？」

鞠莉「VVVF化しているのが2444系よ」

私「ブツブツですわ!!こんなこともわからないなんて片腹痛いですわ!!」

由美「あれか。2444系はワンマン対応か」

私「その通りですわ!!かわいいでちゅね♡♡」

鞠莉「大学生の後輩にあんなことしてて恥ずかしくないのでかしら…」

果南「さあ…(呆れ)?」

2430系は通過していきました。

【挿入曲 終了】

【挿入曲♪C MUSIC Professional Library『ワールド財形ニュース』♪】

由美「さあ、次は俺か。これは1400系。さっきの1201系の4両編成版だね」

私「界磁チョップ制御はクールですわ〜!!」

由美「でしよ?」

後ろ2両は1253系でした。

〜※〜

由美「こいつが1230系…じゃなかった。1259系だ」

私「確か形式すぐ複雑な分け方ですわよね…」

由美「ちびつ子たちには理解不能だぞ…。しかも名古屋線や大阪線だけじゃなくて1252系とかいう奈良線専属の形式もあるし…」

私「でしよね…」

普通列車の2両編成単独でした。

〜※〜

由美「これが5200系。3ドアの転換クロスシート車両だよ」

ダイヤ「これも形式が分かれていますわよね」

由美「これもちびつ子たちにはわからんぞ…」

鞠莉「説明はcut!!」

急行松阪行き。後ろ2両は1240系でした。

〜※〜

由美「それから1430系…じゃなくて1440系。1230系に似ているけど制御装置が三菱製なのさ」

果南「これも形式が複雑なんだよね」

由美「うん。これもちびつ子たちにはわからないと思うからカットします」

急行名古屋行き。後ろ4両は1400系でした。

〜※〜

由美「通勤車の最後は5800系。この車両は2610系と同じで

ロングシートとクロスシートを切り替えられるんだよ」

鞠莉「マリーこれに乗ってみたい!!」

由美「なかなか出会えんぞ…。作者もYouTubeのアイコンをそれにしているけど乗ったことは一度もないって話だったし…」

急行鳥羽行きで、後ろ2両は1253系でした。

※

由美「今度は特急車行ってみよう。まずはアーバンライナープラス。白い車体に黄色い帯が特徴的だよね」

私「これに乗って由美と大阪難波までひとつ飛び…ロマンがあまりますわ♡♡」

果南「由美は渡さないから。由美と難波に行くのは私だよ?」

私「果南さん、私に喧嘩を売っているんですの?」

果南「ソナコトナイヨー」

鞠莉「2人ともやめるのデース!!」

私・果南「はいスンマセン…」

アーバンライナープラスは高田本山駅を通過していきました。

※

由美「次はアーバンライナーネクスト。たった2本しかないレア車両らしい」

果南「中身はアーバンライナープラスと同じだよね」

由美「こらそれ言ったらロマンがなくなるわ!!」

アーバンライナーネクストも塩浜駅を通過していきました。

※

由美「今度は伊勢志摩ライナー。黄色と白のツートンカラーが映えるなあ…」

鞠莉「待って!向こうからも同じ形の色違いが来たわよ!!」

由美「あれも伊勢志摩ライナー。赤と白つても映えるぞ。それに色違いつてのはポケモンじゃあるまいし…」

伊勢志摩ライナーは伊勢若松駅を通過していきました。

※

由美「次はACE。オレンジと白もいいよね」

鞠莉「前のオレンジはボロ感が出ていて嫌だったわ」

由美「…マルに言いつけるよ?」

鞠莉「それだけはやめて花丸には嫌われたくないから!!」

??「聞いてたずらよ?」

とりあえずACEの通過を待ちましょう。

く※く

由美「さて、こっちもAceって言うんだ」

私「それはそうとなぜ花丸さんが?」

花丸「訳のわからない企画をやっているから便乗しようかなって」

しかし汎用特急車両のオレンジと白はぐでたみたいで映えますわね。

く※く

由美「それからこれはサニーカー」

果南「これこそボr…」

花丸「やめるぞら」チョップ

私「後ろ4両は2階建てのビスタカーですわね」

サニーカー+ビスタカーは近鉄蟹江駅を通過していきました。

く※く

花丸「じゃあ次はオラが説明するぞら。まずはしまかせ。名古屋から賢島までを結ぶプレミアム特急ぞら」

由美「中身も革張りのフットレスト付とかそんなに乗れんぞ…」

青い車体からも爽快感が湧き出ています。

く※く

花丸「最後はひのとり。去年登場したばかりの最新型ぞら」

果南「それはそうとなんで通勤車はボr…」

花丸「果南ちゃんは黙るぞら」

【挿入曲 終了】

私「もう一度聞きますが、なぜ花丸さんがここに?」

花丸「変な収録しているからオラも参加すべきだと思ったぞら」

由美「それはそうと近鉄を馬鹿にしたら許さないってのは…?」

花丸「オラは近鉄が大好きなの。だからキチガイって言った仲喜く

んとボロって言った鞠莉ちゃん、果南ちゃんのことには許さないずら。あつ、由美ちゃんとは別だよ。何を言っても許してあげないずら♥」

鞠莉・果南「由美を依怙贖するなー!!」

花丸「じゃあ次は近鉄関連の三セクを探検するずら!!」

私・由美「おー!!」

鞠莉・果南「待てえー!!」

【挿入曲♪Nash Music Library『夏色の風』♪】

花丸「まずは養老鉄道。ここにいるみんなは乗っているずら」

私「これは数少なくなつた600系ですわね」

ダークレツド1色も渋くて味がありますわね。

く※く

花丸「こっちは7700系」

由美「そういえばコイツの遭遇率結構高いからな…」

私「そうなんですの?」

由美「ああ」

しかしこの黄緑と緑の歌舞伎塗装も素敵ですわね。

く※く

果南「じゃあ次は…」

花丸「果南ちゃんにチャンネル権は渡さないずら。これは伊賀鉄道。元東急車を改造した200系が走っているずら」

由美「げっ…果南のイメージカラーじゃん…」

果南「『げっ』とは何なの?」

由美「ナンデモナイデス」

果南「よろしい」

200系もカタコトと通過していきました。

く※く

鞠莉「じゃあマリーが行き…」

花丸「鞠莉ちゃんも黙るずら。こっちは三岐鉄道北勢線。270系

電車は奴って呼ばれててふたばちゃんねるでは人気なんだって」

由美「吊り掛けの爆音が響くなあ…」

270系も田園地帯を駆け抜けていきます。

く※く

花丸「最後は四日市あすなろう鉄道。はあく未来ずらく♥」

由美「まあ2019年にリニューアルされたからね」

四日市あすなろう鉄道もゆっくりと通過していきました。

【挿入曲 終了】

【挿入曲♪Nash Music Library『SC-1907』
♪※廃盤】

由美「最後の最後は中部高速鉄道に行ってみようか。まずは定番G5000系から」

私「1962年からもうかれこれ55年以上も走っている化け物ですわね」

花丸「しかもモーター出力320kWとか未来ずらく♥」

G5000系とG5100系4連の8両編成快速東京行きでした。

く※く

由美「これが運転席」

私「まさかマスコンに大型ブーメランが刺さっているとは…」

花丸「作者みたいずら…」

ブーメラン型というのもかなり珍しいのですが、かなり操作しやすいようです。

花丸「あつ！反対からもG5000系が走ってきたぞらよ!!」

私「しかしあつという間ですわね…」

く※く

由美「車内はリクライニング機能付きの回転クロスシート。まさかの特急車並みwww」

果南「他にどこの会社にあつたつけ…?」

鞠莉「他はなかったはずよ」

果南「やっぱり…」

く※く

由美「でも力強い走りがいいよね」

私「そうですね」

今度はディーゼルモードで梅田方面に走っていきました。

〜※〜

由美「これはG5100系」

私「何が違うんですの？」

由美「登場時のブレーキ方式が違うんだ。こっちは電磁自動空気ブレーキだったんだよ」

花丸「じゃあG5000系は？」

由美「電気指令式ブレーキ」

花丸「どっちも未来ずらく」

果南「相変わらずだね…」

〜※〜

由美「これはG3600系。モーター出力が400kWの機関車レベルの車両なのさ」

私「2階建てのグリーン車も入っていますわ」

由美「じゃあ中身を見てみよう」

全員「賛成ー!!」

〜※〜

由美「こっちは革張りの電動リクライニングシートになっているぞ」

私「間接照明もクールですわ〜!!」

花丸「車椅子スペースもついているぞら!!」

由美「2階建て以外はバリアフリー対応にしてあるからね」

〜※〜

私「しかしディーゼルと吊り掛けとVVVFがうるさすぎますわね…」

由美「エンジンも2720馬力だからね…」

爆音を立てて発車していくG3600系でした。

〜※〜

由美「続いては、G0系。特急に使われる車両だな」

私「2階建て車両も2両に増えていますわね」

由美「それでも交直流電車らしいぞ」

花丸「未来ずらく!!」

G0系の爆音VVVFも素敵ですわね。

〜※〜

由美「これは、G8500系。世界でも珍しい吊り掛け駆動の界磁チョップ制御だって」

花丸「ステンレスの車体が輝いていて未来ずらく!!」

私「しかし爆音がすごいですわね…」

G8500系も地下を通過していきます。

〜※〜

果南「じゃあ私が…」

花丸「オラがいる限りは認めないぞら」

由美「これはG3000系。G3600系と似ているけど前のの1両もグリーン車になっているんだ」

私「中も見てみたいですわ!!」

由美「じゃあ行ってみよう!!」

〜※〜

由美「ここが展望席。設計元が通勤車だから前面展望はあまり良くないけど103系に比べればだいぶ改善されているな」

私「仕切りが半分ガラス張りというのも素敵ですわね」

こういうのに乗ってみたいですね。

由美「…あれ？反対からも似たのが…G3100系だ!!」

花丸「あっちも追うぞら!!」

〜※〜

由美「見つけたぞ!!G3100系!!」

私「よく考えたら中部高速鉄道の電車は近鉄より複雑ですわね…」

由美「全部で101両以上は製造しないからね…」

〜※〜

由美「こっちの普通車の車内は電動リクライニングシートになっているんだ」

花丸「それでも普通列車用と特急用で分けられているのはすごいぞら!!」

私「それはそうと、ラッピング電車も見てみたいですわ」

由美「まだ走っているから行こうか」

全員「うん!!」

※

由美「これがG3600系のラブライブ！サンシャイン!!ラッピング電車」

花丸「前から赤、紫、緑、パステルピンク、銀、オレンジ、水色、白、黄色、ピンクになっているすら」

由美「これはA q o u r sのそれぞれのメンバーのイメージカラーをそのまま流用しているよ」

私「私の姿もラッピングされているのですごく素敵ですわ♪」

ラッピング電車も通過していききましたが、やはり吊り掛けはうるさいですわね…。

※

由美「中部高速鉄道も長い編成ばかりじゃない。これはG4600系。2両編成の電気式ディーゼルカーです」

花丸「中身を見てみたいすら!!」

由美「じゃあ特別に公開しますか」

※

由美「ワンマン運転に対応しているから運賃箱がついているのさ」
果南「でもまさかのリクライニングシートだから、最高峰のワンマン普通列車に乗れそうだね」

由美「そんなお世辞を言っても今回は許しません!!」

果南「もう…ほっといてよ…」

花丸「あと運転手がないのに動いているけど何かあったずら？」

由美「これか。人工知能による自動運転を行っているんだよ。車でもまだ実証実験段階だから、ちよつと先走り過ぎたかな」

花丸「今回の中では一番未来ずらく!!」

最後に走行映像が流れて全ての取材は終了しました。

※

名古屋駅に戻ると…、

??「ハグウ!!マリー!!こちらに来てクダサーイ!!」

私「もしかして鞠莉さんのお母様？」

鞠莉ママ「YES!!」

花丸「今回はあの2人だけですか？」

鞠莉ママ「そうデース!!ミイラとデスワとズラアは無罪放免デース!!帰っていただいてカーマイマセーン!!」

鞠莉「…で、マリーと果南はどうなるのよ？」

鞠莉ママ「お説教デース!!近鉄を馬鹿にする言葉を吐いた罰デース!!大概にしてクダサーイ!!」

私「さあ、あの2人はおいて帰りますか」

花丸・由美「うん!!」

そして去っていく私たちに鞠莉さんと果南さんは叫ぶのでした。

鞠莉・果南「逃げるなあ!!逃げるな卑怯者ども!!逃げるなあああああ!!」

【ED♪C MUSIC Professional Librarian
y『たまにはピクニック』♪】

出演

黒澤ダイヤ

青山由美

小原鞠莉

松浦果南

国木田花丸

鞠莉ママ

作

三菱梅蔵

ヨハネは今のままじゃ嫌らしい。

俺「やっと着いたぞ大曾根駅!!」

俺と勇輝くんは中部高速鉄道の丸田町駅からJRの大曾根駅まで歩くことにしたが、それまでの道のりは長かった…。

勇輝「でも直進オンリーの信号機が2ヶ所もあったから嬉しかったですわ」

俺「やれやれ…勇輝くんは信号機が大好きなんだから…由美ちゃんもそうだけど」

由美ちゃんと勇輝くんは鉄道やラブライブ、笑点だけでなく信号機も大好き。信号機への興味は俺が呆れるほどである。

…閑話休題。

大曾根駅の広場に何故か黒塗りの墮天使がいるんだけど…なぜだろう…。

ヨハネ「ヨハネ…名古屋の北の彼方に…墮天!!」

俺「さあ勇輝くん、行くぞ」

ヨハネ「つて無視すんなー!!」

勇輝「それならヨハネちゃんに話しかけたほうが…」

俺「そうだな…」

とりあえずヨハネのもとに行こう。

く※く

ヨハネ「アンタたち私から逃げようとしたでしょ!!」

俺・勇輝「スミマセン…」

ヨハネ「心の狭いヨハネが謝るだけで許すと思う?」

俺「それは…ないな…」

ヨハネ「でしょ…?でも私の相談に乗ってくれるんだったら許してあげるわ」

俺「相談とは…?」

ヨハネ「ちよつと言いいにくいからJRのホームで話そうと思うけど…いい?」

俺「いいけど」

そして改札を抜けてホームに移動する。

く※く

勇輝「えっ？今のキャラでいいのかわからないんですって？」

ヨハネ「うん。中二病系アイドルっていうのは受けないんじゃないかって思ったの。だって最上級リトルデーモンのルシファーでも今やメンタリスト系アイドルだからこのままじゃやばいかなって。そこで色々なキャラを試してみたいから付き合って!!」

俺「：わかったよ。で、どんなキャラを試したいの？」

ヨハネ「まずは幼馴染キャラをやってみたいわ」

勇輝「なるほど。準備はできていますかね？」

俺・ヨハネ「うん!!」

勇輝「それじゃあ、よーいアクション!!」

く※く

善子「ねえ仲喜、幼稚園の時のことは覚えてる？覚えていなさそうね。ほら、ヨハネが迷子になっていたとき、あなたが近所を全力で探し回ってヨハネのママを見つけてくれたじゃない♥あのときのことはずっと感謝しているわ♥ありがとね、仲喜♥」

可愛い…

勇輝「はいカットカットカットー!!」

ヨハネ「どこがいけないのよ!!」

勇輝「萌死にしようでしたわよ仲喜くんが!!」

俺「今回はヨハネに萌死にされるための回だぜ？」

勇輝「それならいいと思いますけど…」

俺「じゃあ次は？」

ヨハネ「妹キャラをやってみたい」

俺「また萌死にしても文句はないよね？」

ヨハネ「もちろんよ」

勇輝「じゃあ、よーい、アクション!!」

く※く

ヨハネ「お兄ちゃん、ヨハネはお兄ちゃんのご飯が大好きなの。一緒にいららばーとに行つたときにご飯を食べたときも、一緒にテニスを

したときも、ヨハネ、すごく嬉しかった。いつも…ありがとね…お兄ちゃん♥」

萌える。俺のハートはズキューンされた。

勇輝「はいカットカットカットー!!」

ヨハネ「何がいけないのよ!!」

勇輝「私まで鼻血を噴きそうになりましたわ!!」

ヨハネ「それはヨハネが可愛すぎるといふことよね♪」

勇輝「お前が言うな」

うん。近鉄みたいにブーメラン刺さってるぞこいつ。

俺「…で、次は…?」

ヨハネ「ツンデレをやってみたいわ」

勇輝「なるほど。準備はできていますわね?」

俺・ヨハネ「うん!」

勇輝「じゃあ、よーい、アクション!!」

く※く

ヨハネ「はい、これ」

俺「何だよ」

ヨハネ「今度の数学Iのテスト範囲をまとめてきたわ。アンタの前赤点取ったんだから感謝しなさいよ!!」

俺「あ、ありがとう…(汗)」

ヨハネ「でも…本当はあんたのためにまとめたわけじゃないんだから、勘違いしないでよねっ!!」

俺「相変わらずだなあよっちゃんは」

ヨハネ「だ・か・ら!!よっちゃんじゃなくてヨハネ!!」

勇輝「はいカットカットカットー!!」

ヨハネ「何がダメだったのよ!!」

勇輝「普通過ぎますわ!!作者さんも書いておるときに反応が薄すぎましたもの!!」

ヨハネ「ということはヨハネはツンデレなのかしら…?」

勇輝「お前が言うな」

俺「…で、次は？」

ヨハネ「ヨハネの極み、ヤンデレを演じたいわ」

勇輝「2人とも準備はよろしいのですの？」

2人「当たり前!!」

勇輝「じゃあ、よい、アクション!!」

く※く

ヨハネ「ねえ仲喜、私、こんなの撮っちゃったんだけど…」

俺「何だよ？」

ヨハネ「これはどういうことなの？」

俺「それは…その…」

ヨハネ「私、言ったわよね、あなたは私のものだって」

俺「はい…」

ヨハネ「なんで、私以外の人と話すの？いや、この前もそうだったわ。電車なんかイチャイチャして…あなたはヨハネの眷属だつてことが全然わかっていないよね。大丈夫よ♥あなたがヨハネのことだけしか考えられないようにヨハネの魔術を唱えてあげる♥さあ、覚悟はいいかしら？そのままタノシイこともしましょうね♥♥♥」

勇輝「はいカットカットカットー!!」

ヨハネ「何がいけないのよ!!」

勇輝「仲喜くんが怯えていますわよ!!」

ヨハネ「やっぱりヨハネにはヤンデレの気質があるよね」

勇輝「お前が言うな」

ヨハネ「ところで仲喜、私にはどんなキャラが向いているの？」

俺「本音を言っついていい？」

ヨハネ「怒らないから正直に言いなさい？」

俺「俺は…今のままの中二病キャラがいいと思う」

ヨハネ「それって…どういうことよ？」

俺「さつきまでいろいろなキャラ見ていたけど、どのキャラにも真のヨハネらしさが欠けていた。まさに演技そのもので、完全に感情がついて行けていなかった。だから…完全に自分を表現できる中二病

墮天使が、ヨハネには向いていると思う」

ヨハネ「…ありがとう…仲喜。自分を表現できる方法っていうのは誰にでもある。私にとってはそのれが中二病キャラだってことだって改めて感じさせてくれたのはリトルデーモンナメクジ。あなたのことよ。だから、あなたも一緒に…墮天使しましょう♪」

俺「力になれたのは嬉しいけど…善子…俺はナメクジじゃない!!」

ヨハネ「だからヨハネよ!!」

全員「あははは…!!」

こうしてヨハネの中二病は守られたのでありました。

しかし、今回由美やダイヤが出ていなかったことから2人が拗ねてしまったの言うまでもない。

乗りたい車両に乗れないんですけど…

今日は朝から暇なので俺は名鉄の金山駅に来ている。ただ名鉄の列車を観察するためである。そして以下のいずれかの車両に遭遇したら名古屋まで飛び乗るつもりでいた。

3500系のリニョール車

3100系の新塗色

9500系

9100系

6000系初期車

6000系の三河ワンマンの脱走運用

6500系6404F

「まもなく1番線に電車が参ります。黄色い線までお下がりください。犬山方面の新鷓沼行き急行です。名古屋、栄生、上小田井、西春、岩倉の順に停まります」

やってきたのは3500系の未リニョール車+3100系の赤一色。

俺「うん…まあいいか。スルーで」

次の普通列車岩倉行きは2両編成。6800系鉄仮面だった。これもスルー。

その次の佐屋行きは4両編成。6800系金魚鉢2本併結。もちろんスルー。

そして32分にはミュースカイがやって…来ない。コロナでの需要減が原因である。

その間に対向列車には3500系のリニョール車、3100系の新塗装が次々とやってきていた。

それにもかかわらず、次の岐阜行き特急は6両編成の2200系基本番台。

次の準急新可児行きは6両編成。6500系鉄仮面(6414F)と6800系金魚鉢の組み合わせであった。

もうやだ。全然思い通りの列車が来ないんですけど…。

38分の急行一宮行き。名鉄3300系+3100系赤一色。
39分の特急名古屋行き。1200系B編成。
41分の普通犬山行き。3150系。
46分の普通弥富行き。6500系。ふぎけんなよ真面目に。
48分の快特新鵜沼行き。1200系A編成。
50分の特急岐阜行き。2200系基本番台。
次は52分の急行岐阜行きだが、もううんざりだ。早く9Rかり
ニユーアル来いよ。あくしろよ。
：と思つたらやつてきた。3500系のリニユーアル車であつた。
やつたぜ。

!!
というわけで名古屋駅まで乗ろう。そして近鉄四日市駅に移動だ

く※く
そして近鉄名古屋駅にて。疲れからか、不幸にも2800系281
7Fと9000系9004Fを併結した6連に遭遇してしまう。も
うやだ。5200系にすら出逢えないんですけど…。

仕方なく四日市までは乗るか。

く※く

四日市駅到着。そして名古屋方面のホームに移って1230系列
がやつて来るか見ていこう。

とは言うもの…。

次の列車が10:48の特急名古屋行き。なんだ、君？一体、僕は、
電車に、嫌われているのか？

俺「俺は嫌われてない」

それでも言わないとよっぽど心が折れるわ。

というわけで48分の特急はというと…12600系+3000
0系。

その次の51分発の急行は1201系+2800系。

52分発の準急。1000系。

その次は10分発の急行。2800系2連+4連。

11分発の普通。9000系。そろそろ嫌になつてきた。

21分発の特急。22000系+22600系。

しかもその間に対向列車には1230系や1430系、5200系がバンバンやって来ていた。なんだ、君？一体、揉めるのか？

28分発の急行。1201系+1211系。本当にうざすぎる。

29分発の準急。2430系。なんだ、君？一体、僕は、VVVF群に、嫌われているのか？

俺「俺は嫌われてない」(2回目)

その次は51分まで来ないんですけど。

その間、湯の山線には2000系、1010系などがやって来ている。こちらはいつものことである。

一方で対向列車はというと…5200系+9000系などが連続でやって来る。

そして待つこと22分。やってきた急行列車は…。

1253系1260F+5800系5812F

やったぜ。

そして名古屋駅に戻ってからのこと。

驛麵通りで一風堂をいただく。

俺「次は…中部高速鉄道行くか」

こうして名古屋中央駅(2021年3月8日付で名古屋駅から名古屋中央駅に改称された。)に移る。

中部高速鉄道名古屋中央駅の新居町・静岡方面の時刻表は以下の通りになっていた。

13:16 快速 軽之田(南国急行鉄道直通) 10両☆

13:18 普通 湖西新居町 4両

13:26 快速 東京 8両☆

13:28 普通 飯田市役所前 3両

13:30 快速特急 上野 10両☆

13:36 快速 沼津 12両☆

13:38 普通 静岡中央 4両

13:46 快速 軽之田(南国急行鉄道直通) 10両☆

?

(以下略)

☆印は当駅始発。全列車ワンマン運転。

湖西新居町駅(2021年3月8日付で新居町駅から湖西新居町駅に改称された。静岡中央駅も静岡駅から改称されている。)において、G3200系もしくはG3400系のステンレス車をキャッチすることを目標にした。このため、次の快速軽之田行きに乗るのだが、必ず10両固定編成のみで運転されるといふ特徴がある。

しかし、疲れからか、不幸にも抵抗制御のG9900系に遭遇してしまう。抑速ブレーキや発電ブレーキはついていてるけど回生ブレーキがついていないキングオブ非省エネ車だから嫌なんだよねえ…。それでも我慢して乗るしかないよね。

車内はリクライニング付回転クロスシート。最近になってハイバックシートの採用により中部高速鉄道でロングシートが本格採用になったが、やっぱりクロスシートこそ至高だろう。

く※く

東赤池駅を発車すると地上に出る。そして豊田駅を発車したあとは連続勾配が続くためG-MT87の咆哮が凄まじい。

乗ること小一時間、湖西新居町駅到着。どこぞのJRより短時間で到着した。平坦区間で180km/h、40%勾配でも140km/hのスピードを出していたから当たり前か。

さて、豊橋市役所前・名古屋南方面の時刻表を確認しよう。現時刻は14:12である。

14:14 快速 富山中央(郡上経由) 4両☆

14:16 普通 名古屋南 2両

14:18 快速 梅田 7両

14:20 快速 富山中央(美濃加茂中央経由) 5両☆

14:24 快速 皇大神宮前(伊勢神宮内宮前) 6両☆

14:30 普通 広島 10両

14:32 普通 本宿 1両

14 : 38	快速	梅田	3両
14 : 40	普通	師崎	3両☆
14 : 41	快速	長野	4両
14 : 44	快速	富山中央(郡上経由)	4両☆
14 : 46	普通	名古屋南	3両
14 : 49	普通	五条河原町	4両
14 : 50	普通	美濃加茂中央	2両
14 : 51	普通	岐阜市	2両☆
14 : 53	普通	大曾根	6両☆
14 : 58	快速	梅田	8両

?

(以下略)

☆印は当駅始発。全列車ワンマン運転。

しかし3両編成多いな…。ただ、1両編成以外の全列車が狙いだ。32系や34系は2両編成から5両編成が存在するためである。

：あつ、14分発は停車中だ。G1600系。

16分発の名古屋南行きはG4600系。

18分発はG5000系4連+G5200系3連。やっぱり来ない。
20分発はG4700系。大外れであった。

24分発はG5200系3連+G5300系3連。

30分発はG3600系。

32分発はG24200系。

38分発はG5200系3連。そろそろうんざりになってきた。
あくしろよ32系。

40分発はG9800系3連。直流モータの界磁添加励磁制御である。

41分発の長野行きはG31100系界磁チョップ制御車両。なんだ、君? 一体、揉めるのか?

44分発の富山中央行きはG2500系。電気式気動車でも今日はイライラする。

46分発の名古屋南行きはG12000系。液体式気動車でもイラツとくる。あくしろよ。

49分発の名古屋南行きこそ…と思ったらG3200系4連がやってきた。やったぜ。

しかし、この列車では名古屋南に帰るのに時間がかかるのでスルースるしかなかった。

50分発の美濃加茂中央行きはG3500系吊り掛け抵抗車。

この列車が行ったあとは何故か電話がかかってきた。

【通話開始】

俺「はい」

梨子『もしもし？由美ちゃん？梨子だけど』

俺「どうしたの梨子ちゃん？」

梨子『ダイヤさんが虚ろな目をして由美ちゃんの名前を連呼しているの!!だから早く名古屋南支社に帰ってきて!!』

俺「…了解。58分発の快速が一番早く着くから俺それ乗って帰るわ」

【通話終了】

参ったな…ダイヤが病んでしまったとは…慌てるわこりや。

そしてその後の51分発。これはG3700系2連であった。

53分発はG3700系のSynRM試験車G3773Fだった。レア物3連発だと次もG3200系ということは低いぞ…。

…と思いきや、14:58発の乗る列車はG3200系3連とG1000系5連の8連であった。実はこのG3200系G3280Fはオールロングシートで登場しているので、それがわかっていた俺はそっちではなくG1000系の方に乗ってしまった。

やっぱりオール吊り掛け×GTO—VVVFというのはむちゃくちゃうるさい(とはいえ、G3200系は半分だけIGBTを使用しているが)。しかし、それにも味があり、夢心地の気分で帰路につくのであった。

帰ってからのこと。

ダイヤ「由美!!私を置いてどこまで行っていたんですの!?!」

俺「えーつと…金山、近鉄四日市、湖西新居町の3駅が主だったかな…？」

ダイヤ「私凄く寂しくて心が折れそうでしたわ!!どうやって責任を取ってくれるんですの!？」

俺「それは…その…」

ダイヤ「ですから今日は私と一緒に寝ましょうね♥♥♥」

俺「参ったなこりや…」

久々にダイヤがヤンデレになったんですけど…最初のヤンデレから2年経つても相変わらずだな…。

A q o u r s 春の B A N 祭り

春休みの某日、ハーメルンで小説を書いていると突然1件のメッセージが飛んできた。内容は以下の通りである。

こんにちは♥

相手： のあるん

こんにちは、お兄ちゃん♥

のあるんは夜のお相手をしてくれる相手を探しているの♥

「該当URL」

良かったらここからアカウントを登録してフォローしてね♥♥♥

2021年3月18日(木) 12:47

俺「(こいつスパムだな...)」

そう思った俺はURLを開くこともなく、返信せずに放置した。通報は機能制限によりできなかった。

しばらくして、DIAMONDカワサキ氏からメッセージが飛んできた。

スパム来ませんでしたか？

相手： DIAMONDカワサキ

竹蔵さん、なんかURL載せてアカウント登録&フォローお願いしますみたいなメッセージが来ませんでしたか？それとあれはスパムだと思いますが竹蔵さんはどう思いますか？

2021年3月18日(木) 15:24

俺はもちろん返信した。

Re：スパム来ませんでしたか？

相手： DIAMONDカワサキ

DIAMONDさん、間違いなくスパムです。通報にご協力よろしくお願い致します。

2021年3月18日(木) 15:28

Re：Re：スパム来ませんでしたか？

相手： DIAMONDカワサキ

やはりそうでしたか…。通報しておきますわね。

2021年3月18日(木) 15:32

また、通報機能が死んでいる俺はAqoursメンバー以外での、ネット上の知り合いには通報を呼びかけた。

しかし、18時になってもその勢いはとどまらず、飯の時間になった。

20時。運営は動き、相次いでスパムアカウントがBANされていった。これで事件は収束した：はずだったのだが。

※

次の日のこと。突然みかん怪獣氏からスクスタのボイコット運動のお願いが送られてきた。

スクフェスALL STARSについて

相手： みかん怪獣

スクフェスALL STARSはアプリを入れない、やらないの周知をお願いします。

どんどん内容が改悪されていくので私でも心が折れそうです。これ以上被害者を増やさないように不買運動を呼びかけていただければ助かります。

2021年03月19日(金) 12:17

かなり怪しいんですけどこれ…。

危ないと思った俺は返信しなかった。

するとまたDIAMONDカワサキ氏からメッセージが届いた。

みかん怪獣氏より

相手： DIAMONDカワサキ

みかん怪獣氏からスクスタの不買運動の呼びかけ来ませんでしたか？

「スクフェスALL STARSはアプリを入れない(仮にすでに入っていたとしてもいち早くアンインストールする)、やらないの周知をお願いします。

どんどん内容が改悪されていくので私でも心が折れそうです。これ以上被害者を増やさないように不買運動を呼びかけていただければ助かります。」

…という内容でしたが。

2021年3月19日（金） 12:19

Re: みかん怪獣氏より

相手: DIAMONDカワサキ

ほぼ同じ内容が来ました。しかし、我々Aqours&中部高速鉄道の界限にのみ送ってきているだけだと思います。私はスクスタをやっていないので良かったのですが、DIAMONDさんはやっていませんよね？

2021年3月19日（金） 12:30

Re: Re: みかん怪獣氏より

相手: DIAMONDカワサキ

私はやっています。スクスタを貶されてすごく傷ついたので、みかん怪獣氏のメッセージは通報しておきました。

2021年3月19日（金） 12:37

Re: Re: Re: みかん怪獣氏より

相手: DIAMONDカワサキ

わかりました。もしアカウントロックされたらまた言います。

2021年3月19日（金） 12:38

言い忘れていたが、みかん怪獣氏というのは千歌つちのことで、DIAMONDカワサキ氏というのはダイヤのことである。つまり、もしかすると千歌つちのアカウントがロックされるということである。そうになったら終わりだ。千歌つちは俺のことが大大好き。つまり暇なときは常にLINEで粘着してきて、ひどいと毎時500件のメッセージが来るし、断ると家や会社にまで乗り込んでくるからもうやだ。

案の定、千歌つちのアカウントはロックされてしまった。

【理由】

スパム行為／特定の個人を攻撃するような作品の投稿や書き込み（スクスタのボイコット運動の展開 例：スクフェスALL STARSはアプリを入れない（仮にすでに入っていたとしてもいち早くアンインストールする）、やらないの周知をお願い致します。 どん

どん内容が改悪されていくので私でも心が折れそうです。これ以上被害者を増やささないように不買運動を呼びかけていただければ助かります。(等)

実際、Twitterを見てみると被害者が多かった模様。更には後に果南のアカウント(松浦中国中車)からこんなメッセージが届いていた。

みかん怪獣からメッセージ来なかった？

相手： 松浦中国中車

なんかスクスタのボイコット運動のメッセージが来たんだけど、竹蔵は被害にあったのかなって。

2021年3月19日(金) 19:46

Re：みかん怪獣からメッセージ来なかった？

相手： 松浦中国中車

来ました。それでみかん怪獣氏がロックされたんですけど…その後がやばいことになったんですよ…。続きはLINEでお願いします…。

2021年3月19日(金) 20:03

その後、俺・青山由美が芝浦竹蔵であることは果南もわかっていたのでLINEで会話することにした。

《left》で、何があったの？ 《left》

みかん怪獣さんのハーメルンのアカウントがBANされてから千歌っちがうざすぎる。ぱっと見たら一気に400件くらいLINEの通知が溜まってそれが全部千歌っちのやつだったのよ。でも俺は引き続きやり取りしたいからブロックできないんだよねえ…。

《left》なるほど…。相手が千歌だし、千歌も由美のこと大好きだから…。 《left》

《left》でも大丈夫。千歌のTwitterを私が総攻撃してあげる。 《left》

ありがとう…

それから30分後、Twitterの果南のアカウントを見てみると、

【拡散希望】

@M i k a n | D y n a m i t e

皆さん、現在幼馴染のみかん怪獣が私の大親友の芝浦竹蔵にLINEでストーリーとも呼ばれる行為をしています。

送りつけたメッセージは1時間に400件以上と非常に悪質なため上のアカウントのツイートを参考にして通報とブロックにご協力ください。

#拡散希望 #通報推奨 #ブロック推奨
(スクショ晒し)

「※ごめんなさい作成できませんでした」

午後8:42 2021年3月19日 T w i t t e r W e b A
p p

← ← ←

返信先: @K a n a n C N Rさん

また、LINEで千歌@m i k a n 怪獣というユーザーとやり取りしている人はすぐさまこちらのブロック削除もお勧め致します。

更には、Y o u T u b eにもマンドリンエクスプレスとして現れるのでこちらもブロックをお願い致します。

#拡散希望

午後8:44 2021年3月19日 T w i t t e r W e b A
p p

またか果南お得意の通報依頼。

ちなみに俺は通知オフやブロックはせずに既読スルーを繰り返している。本当に乗り込むまでは待とう。

この日はこれで終わった。しかし、まだまだ悲劇は続く。

く※く

翌朝のこと。LINEにて。2000件以上ものメッセージが千歌うちから来ていた。

《left》千歌@mかん怪獣： ねえ《/left》
《left》千歌@mかん怪獣： 早く会いに来てよ《/left》
《left》千歌@mかん怪獣： 千歌寂しいのに《/left》
《left》千歌@mかん怪獣： なんで千歌を放置するの？《/left》
ft》

《left》千歌@mかん怪獣： うわああああああん!!《/left》
ft》

《left》千歌@mかん怪獣： 「泣きスタンプ」《/left》

《left》千歌@mかん怪獣： ねえ《/left》

《left》千歌@mかん怪獣： 早く答えて《/left》

うざすぎるんですけど…。しびれを切らした俺は黙っていられずこう返した。

I☆YA☆DA

すると突然家のピンポンが連続で鳴り出した。
誰だよもう。千歌うちだったら即追い返すぞ。

俺「どうも」

千歌「由美ちやくん♥会いたかった〜♥♥♥」ハグ

俺「か・え・れ」

千歌「えっ…そんな…酷い!!なんでそんなこと言うの!?由美ちゃん
がそんなことするような人じゃなかったのに!!いきなり来て帰れは
ないでしょ!」ボコツ!!

俺「全部お前のせいだ!!お前が悪いんだ!!スパム紛いのことをやって、垢ロツクされ、それでLINEで俺に粘着してきて、自分が何したかわかってんの!」指で頭グリグリ

千歌「…もういい」ダツ

…どうしよう。もうAqours境界から追放されるぞ…。

それからしばらくは千歌とは全くもって口を利いていない。千歌

のLINEは一度ブロックした。削除はしていないが。

しかし、それだけではない。いつもやり取りしているMeitetsu9700というユーザーから突然メッセージが届いたのだ。

助けて!!

相手： Meitetsu9700

今日、朝からずっと丸窓インバータという人から以下のようなメッセージが届いているんですよ。

近鉄を貶したのはとても良くないことです。あなたにはハーメルンで小説を書く資格はありません。とつとと出ていきなさい!!

あなたはYouTUBEもやっていたんですね。それでも近鉄を貶したことは許しません。動画や小説の投稿をやる資格はあなたにはありません。いち早くハーメルンとYouTUBEから出ていきなさい!!

：というメッセージが1時間毎に来るんですよ。確かに、近鉄を馬鹿にしたことは反省しています。しかし、ここまでネチネチ言う方も問題があると思いませんか？

2021年3月20日(土) 13:39

Re：助けて!!

相手： Meitetsu9700

私は近鉄が好きで、貶されると嫌な気分になります。しかし、それだけで出て行けと言う誹謗中傷をする人についてはいち早く通報しておいたほうが身のためです。

2021年3月20日(土) 13:45

丸窓インバータという人はマル、つまり国木田花丸のこと。最近仲喜くんや果南、鞠莉ちゃんが近鉄を貶してそれにも怒っていた。しかし俺は近鉄は好きで、近鉄を貶されると嫌な気分になるが、近鉄への貶しを許さない人も許さない。そのため、たとえば一番の推しのマルでも黙っていない。

Re：Re：助けて!!

相手： Meitetsu9700

アドバイスありがとうございます。そのアカウントは即刻通報させていただきます。

2021年3月20日（土） 13:52

まあ、独善的な近鉄厨は一度痛い目に遭ってもらわないとwww

その日の夜、丸窓インバータのアカウントはロックされた。しかしこれまでにAqoursメンバーのアカウントが2人もロックされるなんて、どれだけ悪質な荒らし集団と化したんだ…。

【エラー】

特定ユーザーへの粘着行為（被害ID：*****）／スパム行為／特定の個人を攻撃するような作品の投稿や書き込み（近鉄を貶めたのはとても良くないことです。あなたにはハーメルンで小説を書く資格はありません。とっとと出ていきなさい!! あなたはYouTubeもやっていたんですね。それでも近鉄を貶めたことは許しません。動画や小説の投稿をやる資格はあなたにはありません。いち早くハーメルンとYouTubeから出ていきなさい!! 等のメッセージを短時間に多数送りつける）

まあ、千歌つちともなんとか無事に仲直りできて今に至るけど、読者の皆さんは絶対に真似しちゃだめだからな!!

鉄道系スクールアイドル失格!? 乗り間違い選手権

2020年4月1日、沼津港線末端区間は予定通り廃止になった。これについては後にメイン作品で詳しく書く予定だが、1日3往復のみの観光路線でコロナによる需要減もあったのだから仕方はなかった。

自分で言っていて虚しくはなるが、それを聞いて思い出したことがあった。終電の早さランキングである。

宗太郎峠を越える普通列車は重岡6：47発の1本のみ。朝一の1本で終わりというのは泣きそう。

そこから連想したのが中部高速鉄道の系列会社である北海道急行交通道東本線末端区間の本数の少なさ。1日4往復のみの運転とか泣くわ真面目に。

とりあえずZOOMを立ち上げよう。

相手はDIAMONDカワサキ、もとい黒澤ダイヤである。

ダイヤ「あら由美、ごきげんよう」

俺「どうも」

ダイヤ「何をもの思いに耽っていらしたんですの？」

俺「いやもうね…終電とかローカル線とか乗り間違いとかそういうのを」

ダイヤ「乗り間違いですか…ローカル線でやったらすぐイタいですわよね」

俺「そりやそうだ…」

ダイヤ「それはそうと、由美がやらかした乗り間違いというのはあるんですの？」

俺「それがさ、名古屋駅での出来事だったんだけど…」

※

名古屋駅からとにかくいち早く家に帰り着こうとしたときに岐阜行き普通列車に乗ってしまったわけですよ。

そして気づいたら車内放送で、

「次は、枇杷島です」

って言ったから折り返すことにしたわけさ。そしたら電車がしばらく来ないから泣きそうになったことが。

く※く

ダイヤ「まだ名古屋や清須だから良かったですわ…。うちのルビイに至っては…」

く※く

この前静真高校卒業および名古屋工科大学合格を記念して理亞さんとルビイが卒業旅行に行っていたら五稜郭駅で…、

ルビイ「これ乗ろうよ。これなら木古内行くんじゃないの?」

理亞「でも色が違うような…」

目の前にとまっていたのは白い車体に萌黄色とラベンダー色の帯をまとったキハ40だったそうです。

ルビイ「いいから乗るよ♪」

理亞「あっ!待って!!」

そう言って2人は乗り込み、車内で寝落ちしてしまいました。

そして気がついた頃には…、

「まもなく、仁山です」

そう。新函館北斗駅をとくに過ぎており、本数も大幅に少なくなる区間に突入してしまっていたのです。

仁山駅で降りた時にはルビイが理亞さんから大目玉を食らい、函館に戻ってからずっと泣きじやくっていたそうです。

く※く

俺「そりゃいかん。JR北海道で乗り間違えたらそりゃ終わりだわ」

ダイヤ「そうですわよね」

俺「そういえば千歌っちとかそんなことやってないと思いたいが…」

するとまた1人、ZOOMに参加した。

??「2人で何やってるの?」

ダイヤ「果南さんちようど良かったですわ。ちようど列車の乗り間違いの話をしておりまして」

果南「乗り間違い…？ダイヤ、苦い思い出を思い出させないでよ」
俺「果南に何かあったの？」

果南「実はね…」

く※く

中部高速鉄道の名古屋駅（現在の名古屋中央駅）から新居町駅に出るために目の前の列車に乗ったんだけど…、

「本日も、中部高速鉄道をご利用いただき誠にありがとうございます。
この電車は新特快、東京行き、ワンマン列車です」

「新特快って何？」って思ったんだけど車内放送聞いていたら、
「次は、サントムーン柿田川です」

って言いだしたからすぐ慌てたの。だって愛知県内全部通過で
静岡駅（現在の静岡中央駅）も通過して三島の近くのサントムーン柿
田川駅まで停車しないんだよ!?

く※く

俺「それでサントムーン柿田川着いた後どうしたの？」

果南「反対方向からやってきた快速列車で折り返したけど…おかげ
で千歌と曜ちゃんから大目玉。特快や新特快が廃止されてよかった
と思う」

そう。2021年3月をもって沼津港線末端区間以外に、列車種別
の整理も行って上位2種別の特快・新特快は廃止にした。これは果南
以外にもこれらの種別を迷惑がった人が多かったからである。

ダイヤ「でもA q o u r s 乗り間違い選手権第1位に輝くと思いま
すわ」

俺「それを言うんじゃないやい!!俺でもあれは黒歴史だと思うのに
わからないのか14行けやドアホ!!」

果南「でもその通りだと思う」

俺「えっ？」

果南「乗り間違えたって選手権1位って思えばそんなに苦じやな
い。苦だと思ったことも考え方を変えればポジティブに考えられる
んだ」

俺「なるほど…。参ったなこりや…」

全員「あははは…!!」

こうして今回の乗り間違いの話は笑って過ごせましたが読者の皆さんも乗り間違いには注意しましょう。作者およびあたしからのお願いです。

こんなことになっては俺の精神が持たんのだ!!

♪ピロリン

千歌『今空いてる?』

何だよこんな時に。今オンデマンド(動画) 講義中なのに。

俺『ダメ。今講義中』

千歌『終わったら私のところに来てくれる?』

俺『今日は困るんだよなあ…』

千歌『今日じゃないとだめなの!!』

仕方ない。千歌っちがそんなことを言うのと断ってはいけない。夜7時までに行かないと夜中に俺の家の鍵を開けて次の日の朝起きたら下着姿で添い寝していたこともあり、そうなたらたまったものではない。

行くしかないんだよねえ…。

※

千歌「由美ちゃんあがつてあがつて♡」

俺「でもその格好どうしたんだよ?」

千歌「下着姿で中部高速鉄道名古屋南支社の楽屋にいた。」

千歌「千歌の下着を由美ちゃんに見てほしかったの♡かわいいでしょ♡」

俺「そりや当たり前だよ!!みかん色のチェック柄って千歌っちにピッタリなんだから」

千歌「由美ちゃんありがとう♡♡♡」

千歌「ちは抱きついてきた。」

俺「ところで俺を呼んで何がしたいんだよ」

千歌「由美ちゃんのアソコをパンツ越しに触らせてほしいの♡」

俺「それは…駄目だ」

千歌「嫌なの?そんなこと言うのAquoursと中部高速鉄道の中で由美ちゃんだけだよ?」

俺「何度もやられたからもう懲りたの。ダイヤにも貝合わせされたしペロペロ舐められたし…」

千歌「じゃあ嫌って言うならすきあり!!」

千歌「うちは俺のスカートの中に手を入れてきてパンツ越しに俺のアソコを愛撫しはじめた。」

俺「ひゃうっ♥やめろよ♥」

千歌「やめろって言われたらもつとやっちゃうからね〜♥♥♥」
コシコ

千歌「うちの手は速まっていく。」

俺「ああああああイキタクナイイキタクナイイクーーーーイ
クーーーーーーーー♥♥♥♥♥」

俺は果てた。パンツもぐつしより濡れてしまった。

千歌「ところで由美ちゃんは何でダメって言ったの?」

俺「大須に行きたかったんだよ…」

千歌「それなら千歌もつきあったのに」

俺「じゃあ今から行こうか」

千歌「うん!」

とりあえず大須に行こう。千歌には着替えてもらった。

〜※〜

上前津下車後、いつものコスプレショップに向かう。そしてミニワ
ンピの試着をさせられるわけだ。

実際、出かけるときに履いてきたスカートの丈は28cmであり、
それ以上短いのはパンツを見られるのが嫌なので基本履かない。

しかし今回は…、

千歌「由美ちゃん、薄紫色のパンツがチラって見えててかわいいい
♥」

俺「恥ずかしいよこんなの!!早う着替えさせろ露出狂!!」

結局写真に撮られてその後写真が仲喜くんのオナニーに使用され
るとは思ってもいなかった。

〜※〜

千歌「さあ、そろそろ帰るか」

俺「とりあえずE d e p a出そう…ないんですけど…。パスケース
もろとも消えたぞ!!」

しかも血眼になって探してもなかった。

俺「どうしよう…。あれ定期券入ってたし、中部高速鉄道のプレミアム会員用のE d e p a +だから再発行に1万円かかるんだよねえ…」

千歌「千歌も探したけどなかった。千歌のm a n a c aはあつたけど」

俺「もうダメだ…。これ二度目だぞ…」

千歌「どうするの？」

俺「とりあえず上前津の駅長室に行つて聞いてみる」

しかし…

駅員「ありませんよ」

なお、E d e p aの再発行は交通局でも可能となっている。

駅員「E d e p a +再発行の際には再発行のデポジット料2600円と手数料7850円を頂戴いたします」

もうヤダ。m a n a c aの再発行のときは1020円、普通のE d e p a再発行のときも2090円で済むけどこっちは10450円も飛んでく…。

千歌「とりあえず財布確認しようよ」

俺「いいけど…」

そう言つて財布を確認したら…

財布の中に入っていた紙幣64000円分が、使った覚えがないのにすべてなくなっていた。

なお、小銭だけでは1500円程度入っていた。

俺は泣き出してしまった…。だって俺の1ヶ月分の給料の10%以上がなくなるなんてバチが当たったとは思えないんだから!!

千歌「どうするの？」

俺「こんなんじゃないや親どころかダイヤや果南にも見せる顔がないよ!!
これ帰れんぞ胸張って…」ポロポロ

千歌「うちはただ俺を慰めるだけだった。」

千歌「だったら千歌のこのたわわな2つの果実において♥♥♥」

俺「はあ…♥千歌っち暖かい…♥」ぎゅ

千歌「由美ちゃんも暖かいよ♥♥」

俺「ありがとう…」

それから終電に乗るまでずっと動けなかった。このことは親や兄弟、ダイヤたちに話して大目玉を食らったのは言わないでもわかる。

とりあえず今回の損害としては約7万5000円分。再発行にも行った。でも俺二度と失くさないって誓えないからなあ…。

そして千歌っちも謝りに来たが、今回ばかりはとにかく許せなかった。つてのも性的な行為に付き合わされてその上帰してもらえなかったのだから。購入したくない商品に「契約書にサインをいただけるとまで帰しません」つてのと同じだぞ自分が何したかわかってんこの異常性癖者。

とりあえず一週間くらい千歌っちのことは許せないだろう。それ以前にラインで執拗に粘着してきたからその傷もあるんだよねえ…。

山部仲喜謝罪会見

ホテルオハラ・ヴェズヴィオで何かやるって言われてテレビをつけてみたんだけど…。

俺「何なんだあれ？」

ダイヤ「仲喜の謝罪会見ですわ」

俺「仲喜くんが何かやらかしたの？」

ダイヤ「知らないんですの？あなたも鞠莉さんに言いつけますわよ？」

俺「まさか奴が鞠莉ちゃんの誕生日を忘れたとか？」

ダイヤ「その通りですわ。鞠莉さんがGPS発信機を埋め込むほどに溺愛している人に誕生日を忘れられたのですから、彼女の逆鱗に触れたのでしょうか」

俺「なるほど」

おっ、始まったぞ。密対策で俺たちは生中継を別室から見ている。

スタッフA「ただいまより、山部仲喜謝罪会見を始めます」

仲喜「この度は、小原鞠莉さんに限らず、Aqoursメンバー全員の誕生日を3年間ずっと公の場で祝ってこなかったことをお詫びいたします。誠に申し訳ございませんでした」

カメラの音が響く。その後、質疑応答に入る。

スタッフA「それではその人」

記者A「虹ヶ咲TVの絢瀬です。山部さんはなぜ公の場で誕生日を祝ってこなかったのですか？」

仲喜「はい。私たちはテレビに出ないようなローカルアイドルです。そのため、公の場で祝わなくても大丈夫と思いついてしまいました。本当に反省しきりです。申し訳ございません」

まあ、甘く見がちだね。

スタッフA「それでは次の方」

記者B「はい。EBSの小泉といいます。あなたはμ'sの誕生日も7年以上の間祝ってこなかったという噂がありますが本当でしょうか？」

仲喜「最初の2年間は極度のラブライブアンチでした。そしてその後もまだ著名ではなかったものでこれもスルーしてしまいました。本当に申し訳ありません」

俺も仲喜も同時期までラブライブアンチだったということは本当である。ダイヤは当初からラブライバーだったが。

そして質疑応答は続く。中には東海鉄道チャンネルというYouTubeとか日本鉄道ドットorgという鉄道ニュースサイトまで来ていた。

ひどかった質問はCookieの鉄道新聞の記者からであった。

記者C「あなたはかつてラブライブアンチで、さらに誕生日を祝うことも公の場で行って来なかった。あなたにはラブライブにかかわる資格は一切ありません。今すぐラブライバーをやめてください。そして一生ラブライブに関わらないでください」

すると周りから暴動が起き、すぐに該当記者は退場させられた。仲喜くんも怒りをこらえているように思えた。

最後の質問は以下の通り。

鞠莉「私の愛する人に質問しマース。今後仲喜は何をするのデースカ？」

仲喜「ム、sとAqoursの誕生日は必ず公の場で祝うことを誓います」

鞠莉「それではマリーが認めませーん!!もつと何かお願いしまーす!!」

仲喜「Aqoursの誘いは一切断りません」

鞠莉「それで許すと思ってるのデースカ？」

仲喜「反省しきりです…土下座します…申し訳ございませんでした…」

鞠莉「まだまだ気合が足りないのデース!!」

仲喜「許してください鞠莉様!!何でもしますから!!」

鞠莉「ふふっ♥その言葉、待ってたわ♥でも今何でもするって言ったよね?だからマリーに付き合っ♥」

仲喜「ちよっ…待っ…嫌だあああああ!!」ズルズル

こうして謝罪会見は終わりを迎えた。

ダイヤ「やれやれですわね…。ところで由美」

俺「何だよ」

ダイヤ「勇輝さんの誕生日はお祝いなさったんですの？」

・・・Ω\。ゝ）チーン

俺「すっかり忘れてた!!」

ダイヤ「…すぐに新居町に戻りましょうか」

俺「…はい」

完全に失念していた。こりやがつつり絞られるぞ…。

315系は、大垣に、来るな。

今ルビイは非常に不機嫌です。

その理由はお姉ちゃんと喧嘩したからじゃない。

ルビイの大好きな由美ちゃんが冷たいからじゃない。

東京五輪の開催が上限1万人の有観客で決まったからじゃない。

実は：ルビイは…、

ルビイ「オールロングシートの新快速に乗りたくないんです!!」

由美「それ俺もだわ」

ルビイ「由美ちゃんも新快速のオールロングシートは嫌でしょ?」

由美「当たり前だよ!!クロスシートだと気兼ねなくおやつとかご飯とか食べられるし、何よりロングシートで寝落ちしたときの後味が悪いんだ!!」

ルビイ「そうだよね、由美ちゃん!」

お姉ちゃん「いえ、どんな長距離列車でもロングシートのほうが一番ですよ?」

ルビイ「えっ?お姉ちゃんはロングシート派なの?」

お姉ちゃん「当たり前ですわ。混雑緩和につながり、かつ最近では座り心地も良いのですから」

そうしたら千歌ちゃんがZOOMに参加した。

千歌「3人とも何話してるのー?」

ルビイ「ロングシートの新快速に賛成か反対かで揉めていたの。ルビイは反対だよ!!」

千歌「私も転換クロスシートじゃなきゃ嫌だ。この前名古屋から沼津に帰る快速電車に乗った時にロングシートでお尻が痛かったししかも混雑の中でうるさくするおじさんがいたし最悪だったよ」

お姉ちゃん「その気持ちはわからなくもありませんわ。しかしそれくらい混んでいたということですから合理的ではあるんですのよ?」
千歌ちゃん説得されないで!!

お姉ちゃん「それに座り心地ですが315系では改善されると思いますわ。ですからオールロングシートでも良いのでは?」

千歌ちゃん折れるな!!

千歌「…そうだよ。座り心地が良かったらそれでいいもんね」
これは嫌な予感がする。

梨子「ルビイちゃん、ダイヤさんこんにちは」

ルビイ「梨子ちゃんこんにちは!」

曜「千歌ちゃんたち4人は何やってたの?」

ダイヤ「ルビイがロングシートの新快速に乗りたくないと言いだしたのでその件で議論しているのです」

ルビイ「ルビイはロングシートの新快速なんて嫌だ!315系は大垣に来てほしくないの!!」

由美「俺もだ。東海道の静岡でロングシート地獄と言ってあれだけ騒いでいるからJR東海も鉄道ファンをどんどん冷遇し始めている気がする」

曜「私は別に平気だよ。この前中部高速鉄道の快速でロングシート当たったときも全然大丈夫だった」

梨子「東京は基本ロングシートだから私も新快速はロングシートでいいと思う。大阪や名古屋だけ得するとそれだけで嫉妬しちゃうわ」

ルビイ「…ぐすん」

曜ちゃんも梨子ちゃんもロングシート派だったんだ…。

鞠莉「あら、みんな揃って何をしているのかしら?」

お姉ちゃん「鞠莉さんはロングシートの新快速に反対ですか?」

鞠莉「マリーは何が何でも速達列車にロングシートはNOよ?」

ルビイ「やっとな最初の理解者だあ!!」

鞠莉「だってロングシートには高級感が全く感じられないもの。それにクロスシートだといつでも果南の胸がもみ放題だからね♪」

果南「…訴えるよ?」

ルビイ「ところで果南ちゃんは新快速はクロスシートじゃないと嫌？」

果南「私もロングシートの新快速は嫌かな。鞠莉の邪魔は入りそうだけど、やつぱり1人の空間に入れることがあるからクロスシートのほうがいいと思う」

ルビイ「果南ちゃん鞠莉ちゃんありがとう!!」

今度は花丸ちゃんと善子ちゃんがやってきた。

善子「ヨハネ、新居町に再び墮天!!」

ルビイ「えーっと、『疲れからか不幸にも列車はコンパートメントじやなきやダメな善子ちゃんに遭遇してしまう』と」カキカキ

善子「私のイメージをコンパートメントで決めつけるな!!それにヨハネ!!」

花丸「ちなみにマルは新快速にロングシートってのは反対ずら
ルビイ「でしょ?」

善子「ヨハネはロングシート地獄を味わうべきだと思うわ」

お姉ちゃん「善子さんそうでしょう?」

善子「ダイヤも善子って言うな!!」

さて、今の派閥をまとめてみよう。

【ロングシート派】

お姉ちゃん

千歌ちゃん

曜ちゃん

梨子ちゃん

善子ちゃん

【クロスシート派】

ルビイ

由美ちゃん

鞠莉ちゃん

果南ちゃん

花丸ちゃん

次のアンケート対象は…。また参加したよ。

清「どうも」

幸恵「今日も地獄からやってきたわよ!!」

光希「落語に使えそうな話題かも」

月「鉄道ネタには口出ししないと」

オードリー「何をやっているのでしょうか…」

ルビィ「清ちゃん！清ちゃんたちは新快速にロングシートって言ったらどう思う？」

清「私は別に構わないかな。重度の乗り鉄が激怒するだけで」

月「僕は反対。旅と言ったらクロスシートじゃなきや嫌だ」

幸恵「地獄ではロングシートが当たり前だからロングシート一択しかないわ」

光希「落語家にクロスシートを求める？そういう了見だから由美さん、あんたはいつまでもドジである」

由美「もうやだ…言い返せない」

オードリー「ワタシはクロスシート一択。ヨーロッパでは着席通勤が当たり前ですから」

もう一度まとめてみよう。

【ロングシート派】

お姉ちゃん

千歌ちゃん

曜ちゃん

梨子ちゃん

善子ちゃん

清ちゃん

幸恵ちゃん

光希ちゃん

【クロスシート派】

ルビィ

由美ちゃん

鞠莉ちゃん

果南ちゃん

花丸ちゃん

月ちゃん

オードリーちゃん

あとはあの4人だ。4人は新居町運転所側からZOOMに参加した。

お兄ちゃん「どうも」

由美「南急からお疲れ様です」

お兄ちゃん（仲喜くん）は今月の1日付で南国急行鉄道に左遷されたけど、何かあればすぐにでも戻ってこられる。

由美「仲喜くんはロングシートの新快速には反対だよね？」

お兄ちゃん「何を言うんだ。3ドアや4ドアはオールロングこそ至高なんだよ。だいたい南国急行鉄道の自社車両も全部ロングシートだし」

お兄ちゃんは極度の異端者だ。

由美「まさかそれ以外も全員…？」

聡平くんもジュリーも勇輝くんもうなずいた。

由美「もうやだ：俺の声は届かないのか…」

すると由美ちゃんの携帯に電話が入った。

由美「はい中部高速鉄道でございます」

何だろう。

由美「わかりました」

【通話終了】

由美「なんかG8800系の第8編成の改造が終わったらいいです」

ルビィ「何の改造なの？」

由美「確か座席の改造って言っているから…」

ルビィも嫌な予感がした。

ルビィ「…とりあえずルビィもついていくよ」

お兄ちゃん「じゃああとはやっておくよ」

由美「ありがとう!!」

く※く

新居町工場38号線に行くと、G8800系第8編成がとまっていた。

G8800系は東急の新しい5000系がベースの10両編成で、第8編成にはデハG8888号車という縁起のいい車両が入っているのが特徴だ。

とりあえず車内に入ってみよう。すると…、

由美「まいったなこりゃ…」

ルビィ「ルビィ…泣きそう…」

そう。オールロングシートに改造されていたの。だって改造前がリクライニング付きの回転クロスシートだったんだから質がドンと下がったんだよ!?

社内放送「青山由美さん、青山さん、G8800系の試運転をお願いします。黒澤ルビィさんは同乗をお願いします」

由美「どうしよう…」

ルビィ「えっ…そんな…うわああああん!!」メソメソ

ルビィ…泣いちゃったけど…ルビィが文句言わずに試運転終わるかなあ…?この車両も315系以上の超長距離列車に充当されるから不評買いそうで嫌だよお…。

投稿禁止テンプレート

さて、クロペディアを久々に編集してみようか。

クロペディアは先編集主義が認められる数少ない百科で、「中部高速鉄道」の記事は広報担当でもある俺が立てている。ちなみに俺の名義は「新型バイモード車両」ね。

しかし、いざ開いてみると…、

この記事は、投稿内容に関係なく

「青山由美、山部仲喜」

及びその模倣と思われるアカウントの書き込み、投稿は禁止いたします。

もしそれと思われるものを発見したら、即座に削除いたしますのでご了承ください。

いや、なんで本名で書かれるんだよ!?

ダイヤ「どうしたんですの?」

俺「いやもうね…俺と仲喜くんの投稿禁止とかいうわけわからんテンプレート貼られたんだよ…」

ダイヤ「それは無視して大丈夫ですわ」

俺「どうということだよ?」

ダイヤ「このテンプレートは冗談半分で作られたものなので、適当に編集すれば文句は言われませんわ」

俺「それならよかった」

ダイヤ「まあ一応私はクロペディアの管理者ですので」

俺「なるほど…」

管理者にダイヤモンドカワサキという人がいたがおそらくダイヤモンドのことだろう。

く※く

とりあえずテンプレートを剥がさずに編集してみよう。

編集完了…と。

1時間後…無事。

1日後…無事だわ。

その翌日…

差し戻しをされたがその相手方が無期限ブロックされた。

これで終わりかと思えば…、

ハーメルンの方にメッセージが届いた。

相手は「のんびり天国」であった。相手はわかっている。名前とは裏腹に投稿ブロックの後相手のいるサイトに乗り込んできて誹謗中傷を行うことで有名な害悪鉄ヲタである。

Twitterでも相手は「@VC42 | GOMI」というIDであり、極度の俺のアンチあることが窺える。

【お前いい加減にしろよ】

広報担当だからって中部高速鉄道の記事を荒らしまくっていい気になりやがって、その上投稿禁止テンプレート無視して編集しやがって、本当に何様のつもりなんだよ!!

いいか、お前はハーメルンから、いやネットの世界から出ていけ!!
そして二度と鉄道にもライブにも関わるな!!

てか今すぐ死んでこの世から消えろ!!

うん。即ブロックだわ。

そしてダイヤに伝え、通報をお願いしたらこちらもアカウントブロックとなった。

それ以降、奴のYouTubeについてもブロック済みであるため、奴との縁は完全に切れた。

もうね…先編集権が認められた記事とかテンプレート投稿禁止とか真面目に嫌だわ。

とりあえず他の百科も見てみたが…。

そんなテンプレートがあるわけない。

またダイヤがやってきた。

ダイヤ「もしよかったら私がE d e p e d i aに作りましょうか？」

俺「結構ですてかブロックされるよ？」

ダイヤ「そうですわよね…」

読者の皆さんもこんなテンプレート見かけたからって怯えちゃだめだぞ。あたしからのお願いです。